

令和5年度開設予定学部等一覧

1 学部を設置するもの 9校

令和4年8月

区分	大学等名	学部・学科等名	入学員 定員 (人)	位置	設置者	附帯事項	備考	
私立	福島学院大学	マネジメント学部 地域マネジメント学科	90	福島県福島市	学校法人 福島学院	<ul style="list-style-type: none"> ・「審査意見への対応を記載した書類（6月）」の審査意見3への対応において、「行政法・地方自治法」のシラバスの内容が科目名にふさわしいものとなるよう、15回の授業のうち、3回分の授業内容が地方自治法の内容に改められたが、第6回から第13回の8回分は行政学又は政治学の視点からの内容であって行政法や地方自治法の内容とは見受けられないことから、授業内容を科目名に見合った内容に改めるか、授業内容に合致した科目名称に改めること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 ・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について不断に検討を行い、定員未充足の改善に取り組むこと。（福島学院大学短期大学部保育学科、食物栄養学科） ・学生等の募集を停止中の組織については、適切な時期に廃止等の措置を講ずること。（福島学院大学短期大学部情報ビジネス学科） ・内部監査組織の設置等により、監事を支援する体制の充実を図ることが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> 遵守事項 遵守事項 助言事項 遵守事項 遵守事項 助言事項 	
1								
私立	順天堂大学	健康データサイエンス学部 健康データサイエンス学科	100	千葉県浦安市 千葉県印西市	学校法人 順天堂	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば「総合演習」「卒業研究」について、シラバスでは全専任教員が担当することとなっているが、個々の専任教員をみると健康・医療の専門ではあるが、コンピューターサイエンスの専門ではないなど本学部が対象とする健康データサイエンス分野の一部をそれぞれ専門とする教員で構成されているものと見受けられる。「総合演習」「卒業研究」といった複数の領域にわたる内容を扱う授業科目については、設定されたテーマに対応するためには専門の異なる複数の教員で対応が必要であることが想定されるため、専任教員単独ではなく兼任教員を含めた複数の教員で担当するなど、各領域を専門とする教員が適切に連携した上で実施することが望ましい。また、シラバスでこれらの授業科目について記載する内容については、受講する学生が理解しやすいように、想定される演習・研究のテーマとそれに対応する教員名を具体的に示すことが望ましい。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 ・遠隔地に所在する設置校があることから、監事を支援する組織と監事との連携等により、監事による監査の体制の充実を努めること。 ・開設年度前年度以降に借入を予定しているため、負債について計画どおり償還し、負債の減少に努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> 助言事項 遵守事項 助言事項 助言事項 	
2								

区分	大学等名	学部・学科等名	入学員 (人)	位置	設置者	附帯事項	項目	備考	
私立	北里大学	未来工学部 データサイエンス学科	100	神奈川県相模原市	学校法人 北里研究所	・ 遠隔地に所在する設置校があることから、監事を支援する組織と監事との連携等により、監事による監査の体制の充実に努めること。 ・ 会議の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【・理事会及び評議員会の開催順序（・令和2年度決算・令和2年度監事の監査報告・令和3年度決算）】	助言事項 遵守事項		
3									
私立	新潟薬科大学	医療技術学部 臨床検査学科 看護学部 看護学科	60 80	新潟県新潟市	学校法人 新潟科学技術学園	・ 補正申請書においてディプロマ・ポリシー②に新たに追記された「リーダーシップと判断力」について、「設置の趣旨等を記載した書類」の「第4-2.教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」では「リーダーシップと判断力」は、特に「チーム医療（多職種連携）」、「臨床病態学概論」、「臨床病態学Ⅰ・Ⅱ」、「臨床病態学演習」、「臨床検査総合管理学Ⅰ・Ⅱ」、「臨床検査総合管理学演習」、「臨床実習事前実習」、「臨床実習」で修得させる。」と説明されているが、ここで挙げられているいずれの授業科目のシラバスや授業科目の概要にも「リーダーシップ」に関する内容が見受けられず、それぞれの授業科目がどのように「リーダーシップと判断力」の修得に寄与するものであるのか必ずしも明らかでない。これらの授業科目が「リーダーシップと判断力」を身に付けることを目的とする授業科目であり、当該目的につながる授業内容が含まれていることについて、学生等がその目的等を理解した上で履修することができるよう、各授業科目のシラバスに明記すること。（医療技術学部臨床検査学科） ・ 専任教員資格審査の結果により、教員の補充が必要とされた授業科目については、確実に教員を充足させること。（看護学部看護学科） ・ 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。（看護学部看護学科） ・ 法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ・ 既設校の今後の定員充足の在り方について不断に検討を行い、定員未充足の改善に取り組むこと。（新潟薬科大学薬学部薬学科、応用生命科学部生命産業創造学科、新潟工業短期大学自動車工学科）	遵守事項 遵守事項 助言事項 遵守事項	薬学部 薬学科〔定員減〕 応用生命科学部 生命産業創造学科〔定員減〕	(△50) (△15)
4									
私立	北陸学院大学	健康科学部 栄養学科 (3年次編入学定員)	65 2	石川県金沢市	学校法人 北陸学院	・ 長期的かつ安定的な学生の確保に資するため、本学部に対する社会的なニーズを客観的な根拠に基づき分析するなどして、戦略的な学生募集活動に取り組むことが望ましい。 ・ 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	助言事項 遵守事項	人間総合学部（廃止） 子ども教育学科 社会学科 ※令和5年4月学生募集停止 北陸学院大学短期大学部 食物栄養学科（廃止） ※令和5年4月学生募集停止	(△70) (△70) (△60)

区分	大学等名	学部・学科等名	入学 定員 (人)	位置	設置者	附帯事項	備考	
5	(北陸学院大学)					<ul style="list-style-type: none"> ・改組転換（既設の短期大学等を廃止して、その教員組織、施設設備を基に新たな大学等を設置することによる標準設置経費等の特例）に該当するため、審査基準上、設置経費が標準設置経費を下回っても差し支えないが、校舎（機器備品、図書等）の整備に当たり教育研究に支障がないよう着実に実行すること。 ・改組転換（既設の短期大学等を廃止して、その教員組織、施設設備を基に新たな大学等を設置することによる標準設置経費等の特例）に該当することから、北陸学院大学短期大学部食物栄養学科については、計画どおり廃止すること。 ・改組転換（既設の短期大学等を廃止して、その教員組織、施設設備を基に新たな大学等を設置することによる負債率等の特例）に該当するため、負債率が25%を超えても差し支えないが、経営基盤の安定確保に当たり負債の減少に努めること。 ・設置校の多くで定員未充足の状態が生じていることにより、学校法人の財政状況が近年悪化傾向にあるため、経営基盤の安定確保及び経営改善に向けた中長期的な財政計画を必要に応じて見直し実行すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 遵守事項 遵守事項 助言事項 助言事項 	
6	私立 京都女子大学	データサイエンス学部 データサイエンス学科	95	京都府京都市	学校法人 京都女子学園	<ul style="list-style-type: none"> ・教員組織の年齢構成の偏りが懸念されることから、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ・未整備の規程を整備すること。（役員退職金支給規程） ・学生等の募集を停止中の組織については、適切な時期に廃止等の措置を講ずること。（京都女子大学家政学部生活福祉学科） ・近年の経常収支の状況を踏まえて予算を編成し、予算と決算の乖離が少なくなるようその精度を高めること。 	<ul style="list-style-type: none"> 遵守事項 遵守事項 遵守事項 助言事項 	現代社会学部 現代社会学科【定員減】 (△40)
7	私立 追手門学院大学	法学部 法律学科	230	大阪府茨木市	学校法人 追手門学院	<ul style="list-style-type: none"> ・二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 ・学生等の募集を停止中の組織については、適切な時期に廃止等の措置を講ずること。（追手門学院大学国際教養学部国際教養学科、国際教養学部国際日本学科、経営学部マーケティング学科） 	<ul style="list-style-type: none"> 遵守事項 遵守事項 遵守事項 	
8	私立 摂南大学	現代社会学部 現代社会学科	250	大阪府寝屋川市	学校法人 常翔学園	<ul style="list-style-type: none"> ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 ・会議の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【・理事会及び評議員会の開催順序（・中期計画の策定）】 ・既設校の今後の定員充足の在り方について不断に検討を行い、定員未充足の改善に取り組むこと。（広島国際大学健康科学部医療福祉学科） ・学生等の募集を停止中の組織については、適切な時期に廃止等の措置を講ずること。（摂南大学外国語学部外国語学科、経営学部経営情報学科、大阪工業大学工学部空間デザイン学科、工学部ロボット工学科、広島国際大学総合リハビリテーション学部リハビリテーション支援学科、医療福祉学部医療福祉学科、医療経営学部医療経営学科、心理科学部臨床心理学科、心理学部心理学科、医療栄養学部医療栄養学科） 	<ul style="list-style-type: none"> 遵守事項 遵守事項 遵守事項 遵守事項 	

区分	大学等名	学部・学科等名	入学定員 (人)	位置	設置者	附帯事項	備考
私立	鹿児島国際大学	看護学部 看護学科	80	鹿児島県鹿児島市	学校法人 津曲学園	<p>・二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。</p> <p>・専任教員資格審査の結果により、教員の補充が必要とされた授業科目については、確実に教員を補充させること。</p> <p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p> <p>・会議の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【・理事会及び評議員会の開催順序（・令和3年度決算・令和3年度監事の監査報告）】</p> <p>・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人の平均値に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上に取り組むこと。</p> <p>・既設校の今後の定員充足の在り方について不断に検討を行い、定員未充足の改善に取り組むこと。（鹿児島国際大学国際文化学部音楽学科）</p>	<p>遵守事項 経済学部 経済学科【定員減】 経営学科【定員減】 福祉社会学部 社会福祉学科【定員減】 国際文化学部 国際文化学科【定員減】 音楽学科【定員減】</p> <p>遵守事項 (Δ30) (Δ30)</p> <p>遵守事項 (Δ10)</p> <p>遵守事項 (Δ5) (Δ5)</p> <p>遵守事項</p> <p>助言事項</p> <p>遵守事項</p>
計	9校	10学部 10学科					

(注) 「備考」欄の()書の数字は、今回の認可申請に伴う関係のある既設学部等の入学定員の減を示す。

2 短期大学の学科を設置するもの 1校

区分	大学等名	学部・学科等名	入学定員(人)	位置	設置者	附帯事項	備考
1	私立 帯広大谷短期大学	看護学科 (3年制)	40	北海道河東郡音更町	学校法人 帯広大谷学園	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬患者の養成について、計画に基づき着実に実施するとともに、不測の事態により、模擬患者の登録者数が計画数に満たなかった場合の対応についてあらかじめ検討すること。 ・専任教員資格審査の結果により、教員の補充が必要とされた授業科目については、確実に教員を充足させること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 ・評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。 ・会議の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【・理事会及び評議員会の開催順序（・中期計画の策定）】 ・監事監査において教学監査を実施していないことから、今後の監査に関する計画（監査項目及び実施体制等）を改めること。 ・経常収入に対する教育研究経費が同系統の学校法人の平均値に比べ低く、かつ近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究案件の充実に取り組むこと。 ・開設年度前年度以降に借入を予定しているため、負債について計画どおり償還し、負債の減少に努めること。 ・法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。また、経営基盤の安定化に向けて、認可後の補助金収入等を計画していることから、確実に計画を履行すること。 ・学生確保の実態を踏まえ、法人運営や教育研究等へ与える顕在的・潜在的なリスクの把握、分析を不断に行い、財務計画の見直しや学生確保の取組の改善を機動的に行える態勢を整えること。 	<ul style="list-style-type: none"> 助言事項 地域教養学科（廃止） (△40) 生活科学科（廃止） (△40) ※令和5年4月学生募集停止 社会福祉科 (△10) 介護福祉専攻【定員減】
計	1校	1学科					

(注) 「備考」欄の()書の数字は、今回の認可申請に伴う関係のある既設学部等の入学定員の減を示す。

3 学部の学科を設置するもの 3校

区分	大学等名	学部・学科等名	入学定員(人)	位置	設置者	附帯事項	備考
1	私立 新潟青陵大学	福祉心理学部 子ども発達学科 (3年次編入学定員)	40 5	新潟県新潟市	学校法人 新潟青陵学園	<p>・本学科の育てたい人材像に「子どもの発達やそれを促す環境」に関する専門知識をもとに社会の中で役割を果たす人材を掲げていることを踏まえ、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーについても、「子どもの発達を促す環境」に係る能力やそれを身につけるための授業科目が設定されていることが学生にとって理解しやすいように改めること。</p> <p>・「審査意見への対応を記載した書類（6月）」の審査意見3への対応の説明において、本学科の教育の特色の一つである「理論と実践の循環」について、幼児教育・保育に関する授業科目を理論系科目と実践系科目に分類しつつ、「理論と実践の循環」の図を用いて循環したカリキュラム編成になっていることを説明されているが、例えば、理論に分類されている「子育て支援Ⅱ」では、シラバスにおいて「子育て支援施設への参与観察、調査などを通じて子育て支援の展開例と関係機関との連携の実践と課題を実践的に学ぶ」ことを内容とする演習科目であり、実践的な要素を相当程度含んだ科目も見受けられる。このことから、学生に対する履修指導に当たっては、本学科が掲げる「理論と実践の循環」の考え方や関係する授業科目及びその位置付けについて分かりやすく示すとともに、それぞれの授業科目の中でも、専門性に関する知識のみならず、実践力を身に付ける内容となっているものについては、そのことを学生が分かりやすく認識できるように、これらの関係や構造を整理した図等を用いて明確に示されることが望ましい。</p> <p>・カリキュラム・ポリシーについて、学修成果の評価の在り方等に関する具体的な記述が見受けられないことから、適切に改めること。</p> <p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p> <p>・令和3年度中に開催された評議員会の実出席率が低いことから、実出席を増やすよう努めること。</p> <p>・完成年度における法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財務計画を策定し、確実に実行すること。</p> <p>・同一法人内に、幼児教育分野の人材を養成する既設の2年制学科（短期大学）に加えて、新たに同分野の人材を養成する4年制の学科（大学）を設置することにより生じる競合可能性を念頭に、教育組織の在り方について、改めて、学生確保の見通しや地域社会の人材需要の動向の把握・分析を踏まえて検討し、今後の対応に備えることが望ましい。</p>	<p>遵守事項 福祉心理学部 社会福祉学科【定員減】 令和5年4月名称変更予定 福祉心理学部→福祉心理子ども学部 (△40)</p> <p>助言事項</p> <p>遵守事項</p> <p>助言事項</p> <p>助言事項</p> <p>助言事項</p>
2	私立 北陸大学	医療保健学部 理学療法学科	60	石川県金沢市	学校法人 北陸大学	<p>・完成年度における法人全体の教育活動収支差額がマイナスとなっていることから、既設校の今後の定員充足の在り方について不断に検討を行い、定員未充足の改善に着実に取り組むこと。（北陸大学薬学部薬学科）</p>	<p>遵守事項 薬学部 薬学科【定員減】 経済経営学部 マネジメント学科【定員減】 (3年次編入学定員) 国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科【定員減】 (3年次編入学定員) (△5) (△5) (△10)</p>

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立	九州女子大学	人間科学部 児童・幼児教育学科	100	福岡県北九州市	学校法人 福原学園	<p>・「審査意見への対応を記載した書類（6月）」の審査意見2への対応において、特別指定校推薦選抜、指定校推薦選抜、同窓生子女推薦選抜では、アドミッション・ポリシー①に掲げる「高等学校等で、全ての科目の基礎となる国語・英語を中心とした基礎学力を身に付けている。（知識・技能）」を面接で評価すると説明しているが、高等学校での学習の記録である調査書等を通じて学生の学力を確認するのではなく、面接を通じて基礎学力を確認する趣旨や、国語・英語を中心とした本学の学修に必要な基礎学力を面接のみでどのように評価し、担保するのかが明らかでないことから、面接で基礎学力をどのように評価するのを含め、入学志願者等に対しあらかじめ分かりやすく示すことが望ましい。</p> <p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>助言事項</p> <p>人間科学部 人間発達学科（廃止） 人間発達学専攻 (△130) 人間基礎学専攻 (△60) ※令和5年4月学生募集停止 (3年次編入学定員) (△40) ※令和7年4月学生募集停止 家政学部 人間生活学科（廃止） (△40) ※令和5年4月学生募集停止</p> <p>遵守事項</p>
3							
計	3 校	3学部 3学科					

(注) 「備考」欄の()書の数字は、今回の認可申請に伴う関係のある既設学部等の入学定員の減を示す。

4 通信教育課程を開設するもの 1校

区分	大学等名	学部・学科等名	入学定員(人)	位置	設置者	附帯事項	備考	
私立	日本医療大学	通信教育部 総合福祉学部 ソーシャルワーク学科 (通信教育課程) (3年次編入学定員)	100 100	北海道札幌市	学校法人 日本医療大学	<p>・「審査意見への対応を記載した書類(6月)」の審査意見2への対応において、3年次編入学学生への教育研究指導体制について「履修単位が多く、学生が単位修得に困難が生じそうな場合、チューターや指導補助員が面談などを通して2年間を超える履修についても指導していく」とされており、2年間での卒業が困難と想定される者も3年次に編入学学生として受け入れるように見受けられる説明がされているが、入学前から2年間では卒業できない者を3年次編入学学生として受け入れることは適切ではないことから、新入生(1年次への入学生)として入学を案内することを含め、「3年次編入の入学者選抜資格を与える」際には、本学科の設定する修業年限に十分に留意して対応すること。</p> <p>・「審査意見への対応を記載した書類(6月)」の「3【入学者選抜】」の「対応」において、編入学の単位認定に当たって、審査チームを設置することや、具体的な人員構成及び作業量の見通しについて説明されているが、審査チーム内の教員の役割分担等の具体的な説明がなく、審査の公平・公正性及び効率性を考慮した体制であるか明確ではない。また、入学者選抜委員会や教授会における審査の業務負担が考慮されておらず、単位認定の審査に係る業務量全体が想定されたものよりも増加する可能性がある。加えて、編入学者の出願資格は社会福祉学等を修めた者に限定されておらず、編入学の単位認定に係る審査が必要となる単位の数や種類は各個人によって大幅な差異が発生し得ることを踏まえれば、想定を上回る業務負担が発生することも予想される。これらのことから、審査の公平・公正性及び効率性を踏まえた体制となっているかや入学者選抜委員会及び教授会等も含めた審査業務に係る業務負担について改めて整理するとともに、想定以上の審査に係る業務負担を考慮した体制となっているかについても検討した上で、適切な体制の確保に努めること。</p> <p>・編入学者について、認定単位数によっては入学資格が与えられないか、または2年間の学修期間では卒業が困難であるために、3年次に編入学することができない者も想定されることから、入学希望者に対してはあらかじめ3年次への編入学のための必要認定単位数及び認定された単位数を示すこと。また、3年次編入学が認められない場合には他大学等への進学を望む者もいると想定されることから、適切な時期に、入学希望者に伝達すること。</p> <p>・指導補助員を一定数確保するとともに必要な研修を行う等により、教育研究上の質を担保することとしているが、指導補助員はその業務上、本課程の開設時点から社会福祉士・精神保健福祉士について一定の知見を有することが必要であると考えられることから、学生からの質問等に対応するために必要な専門的知識を備えた指導補助者を適切に配備した教育研究指導体制を確保するため、本課程開設前の可能な限り早期に指導補助員を確定し、必要な研修等を適切に実施すること。</p> <p>・編入学者は様々な背景を持つ者が入学することが想定されるため、学修の継続のためには学修指導業務のみならず厚生補導業務についても非常に重要となるが、生活全般等に関する相談にも対応することとしている指導補助員単独では対応が困難な相談事項も想定されることから、厚生補導業務における教員と指導補助員との連携体制や業務分担について、学生との直接の対面の機会が少ない通信教育課程の性質も踏まえあらかじめ検討しておくことが望ましい。</p> <p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>	<p>遵守事項</p> <p>遵守事項</p> <p>遵守事項</p> <p>助言事項</p> <p>遵守事項</p>	

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
1	(日本医療大学)					<ul style="list-style-type: none"> ・ 監事監査において教学監査を実施していないことから、今後の監査に関する計画（監査項目及び実施体制等）を改めること。 ・ 学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の学校法人の平均値に比べ低いことから、学生生徒等納付金の学生への還元に取り組むこと。 ・ 既設校の今後の定員充足の在り方について不断に検討を行い、定員未充足の改善に取り組むこと。（日本医療大学総合福祉学部介護福祉マネジメント学科、総合福祉学部ソーシャルワーク学科、保健医療学部臨床工学科） 	<ul style="list-style-type: none"> 遵守事項 助言事項 遵守事項
計	1 校	1学部 1学科					